

第 82 回 GAORA 番組審議会記録(2023 年 9 月開催)

第 82 回番組審議会が 9 月 13 日(水)に開催され、対象番組について審議を行い、委員の皆様から以下のご意見をいただきました。

<対象番組> 大畑大介×青木翔のレッツトライゴルフ！～待ってろウエハラ！～PART2
#1初回放送:2023年5月4日(木)13:00～13:15(全16話)

<番組概要>

ラグビー元日本代表の大畑大介。高校時代の同級生で元メジャーリーガーの上原浩治とのゴルフ対決では、これまで2戦2敗。1度目は雑誌・ゴルフダイジェスト社の企画した対決で敗れ、昨年2度目の番組対決でも惨敗した。

「同級生には絶対負けたくない」、その思いから大畑はもう一度、「打倒上原」を目指す。指導はこれまで同様、全英女子オープン優勝の渋野日向子プロも師事する青木翔コーチ。

果たして大畑は、三度目の正直で悲願を達成できるのか。

<委員長総括>

■今回は、「エンタメ番組」なのか、上達を目指した「ゴルフレッスン番組」なのか、という点が審議で意見が分かれたところである。1話 15 分の短尺番組を前回の振り返りを含めてどう工夫して構成していくか、そして全 16 話をどう継続した番組として展開していくかが制作者の腕の見せ所といえよう。

また、メディアが多様化していく中で、番組配信も視野に入れてCS加入者の裾野を広げていくという視点からも、スポーツを題材にいろいろな切り口で様々な位置付けの番組が必要ということであろう。

今回の各委員の意見も踏まえて、是非ブラッシュアップして第3弾の番組に繋がることを期待している。

<審議意見>委員の主な意見は次の通り

■大畑さんは性格も明るく楽しいゴルフをされていて、全体を通して軽快な番組として楽しく視聴できた。大畑さんがこれまでしっかり練習を積み重ねてきたことがよく伝わってきた。一方 15 分と短いためか、一話単位では少し物足りなさも感じた。

肝心の直接対決では、最後に上原さんが暑さの中で疲れたのかギブアップで勝負が決したところが、番組の展開としては盛り上がり切らなかった。

■「ゴルフ番組」なのか「エンタメ番組」なのか、狙いがよく分からなかった。印象として 15 分はあっという間で物足りなかった。大畑さんは青木翔コーチの指導を受けて成長しゴルフのレベルが上がったことが、小倉プロや谷繁氏との実戦ラウンドから伝わってきた。関西人の二人の掛け合いもあり、関西色の強い番組となっていた。

- この番組は、ゴルフ技術の上達を目指す番組なのか二人の会話を楽しむ番組なのかが掴めなかった。ファンは満足するかもしれないが、二人は芸人ではないのでトークがおもしろい訳でもなく、内輪受けの印象で消化不良。例えば、「大畑さんはコーチの指導により何がどう上達して勝負に勝てたのか」とか、「一流の元ラグビー選手と元プロ野球選手がゴルフについて語る」とかがあれば、納得感を得られたように思う。
- ゴルフ愛好家の視聴者に勇気と希望を与える大畑さんのプレーぶりで、「自分に近い存在」として視聴してもらったのではないかと感じた。番組の冒頭に毎回、振り返りのVTRが簡潔にまとめられていたのを見やすい作りになっていた。各ホールのイラストやドローン映像も分かりやすく、音楽も雰囲気合っていた。特に真横からのスイング映像は、いろいろと比較ができて楽しめた。更に分割2画面比較ができればより一層効果的であったと思う。
- 大畑、上原の組合せは、高校の同級生という背景もあり良い企画であった。有名人とはいえ素人二人のゴルフ対決というシンプルなものを全 16 話継続して見せるため、直接対決までに小倉プロや元プロ野球選手谷繁氏との実戦を組み込むなど、いろいろな企画を取り入れたところに工夫が感じられた。この種の番組は、レッスン色とバラエティー色のバランスが難しいところで、もう少しレッスンのパートがあってもよかったのではと感じた。
- エンタメ色が溢れた番組で大変おもしろかった。視聴者を楽しませようとする制作者の意図が感じとられたところを称賛したい。ゴルフは素人である元アスリートが、それぞれ真剣にゴルフに向き合い対決している姿には惹き付けられるものがあった。スポーツチャンネルではあるが、15分番組としてもっとエンタメ方向に振り切っても良かったのかもしれない。各委員の意見にもあるように、視聴者にとってはこの点が中途半端であったのだろう。

[審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、樋口徹委員（以上7名）

GAORA では、これらの貴重なご意見を、これからもより良い番組をお届けしていくために大いに活用させていただきます。

以上